

妊娠期からの児童虐待防止に関する研修

実施要領

1. 研修の目的

児童虐待の発生予防には妊娠届け出時など妊娠期から関わるのが重要であり、早期発見・早期対応には新生児訪問・乳幼児健康診査等の母子保健事業と関係機関の連携強化が必要である。

本研修では、保健師・助産師等が児童虐待に関する基礎知識等を身につけ、市町村及び医療機関等における児童虐待防止に活かすことを目的として実施する。

2. 主催者

厚生労働省（実施団体：公益社団法人 母子保健推進会議）

3. 対象者

自治体において母子保健事業を中心的に担っている方

4. 実施形態

ライブ配信形式とオンデマンド配信形式で実施する。

1) ライブ配信形式

- ・オンライン（Zoom）での実施とし、40名の参加者を募集する。
- ・行政説明、講義、事例発表の様子をリアルタイムで配信するとともに、ブレイクアウトルーム機能を利用してグループワークを行う。

2) オンデマンド配信形式

- ・ライブ配信時に撮影した行政説明、講義、事例発表の映像を編集し、およそ3～4週間後から母子保健推進会議の特設サイトにおいて2週間程度配信する。

5. ライブ配信日時及びオンデマンド配信期間

- ・ライブ配信日時：令和3年10月19日（火）10:00～16:45
- ・オンデマンド配信期間：令和3年11月9日（火）～11月23日（火）

6. ライブ配信プログラム

講義	時間	内容	講師
行政説明	10:00～10:30	母子保健行政の動向	厚生労働省子ども家庭局母子保健課
講義1	10:35～11:35	乳幼児健康診査等の母子保健事業を通じた児童虐待予防 ～ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチ～	公益社団法人 母子保健推進会議 会長 佐藤 拓代
昼休み	11:35～12:30		
講義2	12:30～13:30	地域で家族を支えて ～妊娠期からの虐待の予防と支援～	東邦大学看護学部家族・生殖看護学研究室 教授 福島 富士子
講義3	13:35～14:35	母子保健と福祉の連携	日本大学危機管理学部危機管理学科 准教授 鈴木 秀洋
事例紹介	14:40～15:40	困難事例に対する関係機関との連携	・大阪府和泉市 ・大分県中津市
グループワーク	15:45～16:45	虐待予防と多機関連携	公益社団法人 母子保健推進会議 会長 佐藤 拓代

敬称略